空力構造連成解析技術に関する研究

報告書番号：R18JDA201N02
利用分野：航空技術
URL：https://www.jss.jaxa.jp/ar/j2018/8995/

責任者

青山剛史，航空技術部門数値解析技術研究ユニット

問い合せ先

有薗 仁(arizono.hitoshi@jaxa.jp)

メンバ

有薗 仁，石田 崇, Hamidreza Kheirandish

事業概要

FaSTAR-Move をベースとした空力弾性解析ツールの開発

JSS2 利用の理由

空力弾性解析は非定常解析が必要である．そのため計算コストが高いため，JSS2 の利用が必須である．

今年度の成果

FaSTAR-Move に空力弾性解析機能を実装し，検証解析を行った．

成果の公表

なし

JSS2 利用状況

計算情報

プロセス並列手法	MPI
スレッド並列手法	非該当
プロセス並列数	8 - 128
1 ケースあたりの経過時間	20 時間

This document is provided by JAXA.

● **利用量**

総資源に占める利用割合※1 (%)：0.00

内訳

計算資源		
計算システム名	コア時間(コア・h)	資源の利用割合※2 (%)
SORA-MA	26,089.00	0.00
SORA-PP	28.71	0.00
SORA-LM	0.00	0.00
SORA-TPP	0.00	0.00

ファイルシステム資源		
ファイルシステム名	ストレージ割当量(GiB)	資源の利用割合※2 (%)
/home	3.85	0.00
/data	1,919.16	0.03
/ltmp	778.15	0.07

アーカイバ資源		
アーカイバシステム名	利用量(TiB)	資源の利用割合※2 (%)
J-SPACE	0.00	0.00

※1 総資源に占める利用割合：3 つの資源(計算,ファイルシステム,アーカイバ)の利用割合の加重平均
※2 資源の利用割合：対象資源一年間の総利用量に対する利用割合

This document is provided by JAXA.